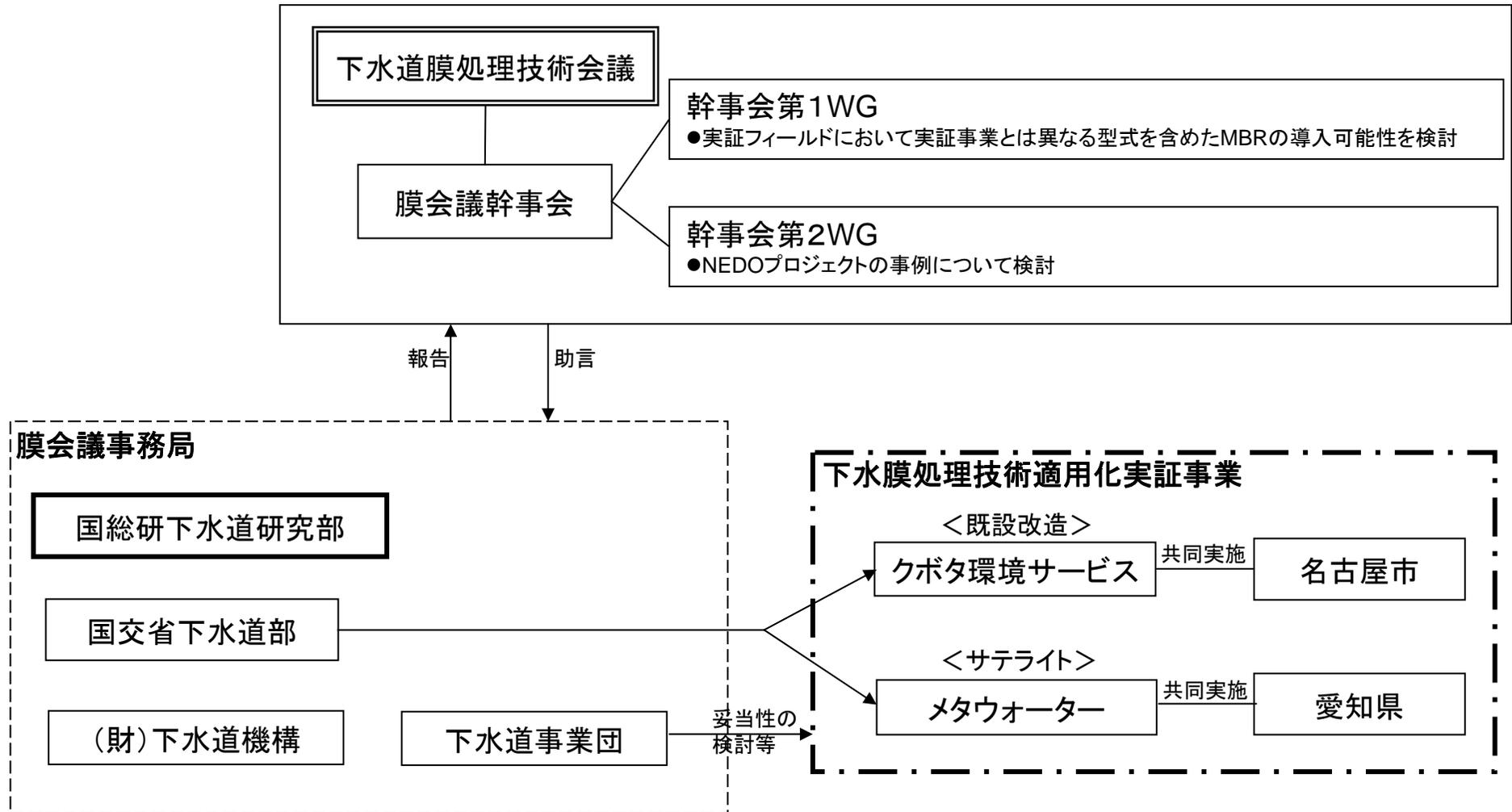


A-JUMP 推進体制

※ Advance of Japan Ultimate Membranebioreactor technology Project



事務局構成機関の役割

- ・国総研下水道研究部: 国の技術基準をマネジメントする立場から、膜会議への報告事項の照査等技術面の総括
- ・国交省下水道部: 総合調整
- ・下水道事業団: 実証事業の妥当性や実証事業とは異なる型式を含めたMBRの既設改造やサテライトへの適用可能性等を検討
- ・(財)下水道機構: 膜会議の運営、実証事業の成果、海外の動向(膜の国際標準化の動向把握等)その他の知見を集約し、GL案をとりまとめ

平成21年度 下水道膜処理技術会議 幹事会名簿（案）

	氏名	役職
委員長	長岡 裕	東京都市大学工学部教授
委員	風岡 嘉光	愛知県建設部下水道課課長補佐
委員	山下 研二	名古屋市上下水道局技術本部計画部下水道計画課長
委員	田中 傑	北九州市建設局下水道河川部水環境課長
委員	片岡 宏	周南市環境下水道部下水道施設課長
委員	波多野 純一	社団法人日本下水道協会技術部参事兼技術指針課長
委員	松尾 英介	社団法人日本下水道施設業協会技術部長
委員	阿瀬 智嗣	一般社団法人膜分離技術振興協会運営委員会副委員長
委員	唐沢 順市	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境技術開発部主任研究員
特別出席	榊原 隆	国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水道研究官
特別出席	石井 宏幸	国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道企画課 下水道技術開発官
特別出席	中沢 均	日本下水道事業団技術開発部先端研究役
特別出席	松葉 秀樹	財団法人下水道新技術推進機構研究第一部副部長

※ 幹事会はWGから検討結果や実証事業の進捗等の報告を受け、膜会議への報告事項について審議する。

平成21年度 下水道膜処理技術会議 幹事会 ワーキンググループ名簿 (案)
幹事会第1WG

	氏名	役職
主査	橋本 敏一	日本下水道事業団技術開発部総括主任研究員
委員	堀 芳彦	愛知県建設部下水道課企画調査グループ主任
委員	小塚 俊秀	名古屋市上下水道局技術本部計画部下水道計画課主査
委員	山内 一晃	荏原エンジニアリングサービス(株)技術統括技術統括室 技術計画グループ長 【中空系】
委員	寺田 充夫	(株)神鋼環境ソリューション水処理事業部技術部 プロポーザル室課長 【中空系】
委員	安中 祐子	(株)西原環境テクノロジー技術本部技術管理部 技術管理1グループ 【中空系】
委員	鈴木 辰彦	前澤工業(株)環境技術部主席技師 【中空系】
委員	佐藤 昌之	(株)日立プラントテクノロジー環境システム事業本部水処理 事業部上下水部長 【平膜】
委員	木下 昌大	(株)クボタ上下水エンジニアリング技術部 大阪技術グループ長 【平膜】
委員	鈴木 重浩	メタウォーター(株)事業開発本部開発センター先端水システ ム開発部先端水開発 Gr マネージャー 【セラミック】
委員	松尾 英介	社団法人日本下水道施設業協会技術部長
委員	大熊 那夫紀	一般社団法人膜分離技術振興協会排水・再利用委員会委員長
特別出席	小越 眞佐司	国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水処理研究室長
特別出席	猪木 博雅	日本下水道事業団技術開発部主任研究員
特別出席	江原 佳男	財団法人下水道新技術推進機構研究第一部総括主任研究員

●実証フィールドにおいて、実証事業とは異なる型式を含めた MBR の導入可能性を検討

幹事会第2WG

	氏名	役職
主査	江原 佳男	財団法人下水道新技術推進機構研究第一部総括主任研究員
委員	福永 泰之	北九州市建設局下水道河川部水環境課企画係長
委員	中村 正一郎	周南市環境下水道部下水道施設課主査
委員	田中 祐之	東レ(株)地球環境研究所主任研究員
委員	一ノ瀬 真	東レ(株)水処理・環境事業本部 水処理事業部門 メンブレン事業第2部営業技術グループ担当課長
委員	佐藤 昌之	(株)日立プラントテクノロジー環境システム事業本部水処理 事業部上下水部長
委員	堀内 啓隆	(株)日立プラントテクノロジー環境システム事業本部環境エ ンジニアリング事業部海外部長
委員	松尾 英介	社団法人日本下水道施設業協会技術部長
委員	大熊 那夫紀	一般社団法人膜分離技術振興協会排水・再利用委員会委員長
委員	緒形 仁	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境技術開発部主査
特別出席	小越 眞佐司	国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水処理研究室長
特別出席	橋本 敏一	日本下水道事業団技術開発部総括主任研究員

●NEDO 事業の事例について検討